



©APDA

## 2007年 パキスタン・ムザファラバードの職業訓練キャンプで

2007年5月にJPPFメンバーによるパキスタンの人口・開発事情視察を実施しました。パキスタン北西部大地震で最も被害を受けたアザド・ジャンムー・カシミール州のムザファラバードで、地震による避難民の女性に所得創出のための技能訓練を行っているキャンプを訪問したときのひとコマです。

パキスタンは世界的に見ても人口1億以上の国でナイジェリアについて人口増加率の高い国です。アジア全体で出生率が安定化の方向に向かっている中で、パキスタンはいまなお著しい人口増加を続けています。パキスタンはイスラーム・スンニー派が

大多数を占め、人口問題を扱うことが非常に難しい状況にありますが、自国の国民の福利のためにパキスタンの国会議員が人口問題に取り組むことがきわめて重要な意味を持ちます。1997年に櫻井新AFPPD議長(当時)がパキスタンを訪問し、「パキスタン人口と開発に関する議員グループ」設立の手助けをしました。しかしその後のクーデターで議会は解散し、議員グループも解散してしまいました。今回の訪問で、スムロ上院議長をはじめとする要人と精力的に面会を行い、パキスタン国会に「人口と開発に関する国内委員会」の再建を要請しました。

### At the Vocational Training Center, Muzaffarabad, Pakistan, 2007

In May 2007, a delegation of JPPF members visited Muzaffarabad, Azad Jammu and Kashmir State, Pakistan, which suffered the most severe damage caused by the earthquake of 2005. In the picture was a Vocational Training Center funded by Japan for women affected by the earthquake. As Pakistan still experiences a rapid population increase, parliamentarians' involvement in population issues has significant implications for

the people's welfare. A Pakistani parliamentary group working on population and development issues was first established in 1997, with the help of the then AFPPD Chairperson, Mr. Shin Sakurai, but was dissolved after the coup d'etat. This time, the JPPF delegation, headed by Mr. Shin Sakurai, met the Chairperson of the Pakistani Senate and other leading figures and requested them to re-establish such a parliamentary group.

